

別記様式第15号-1(第29第4項関係)(特別交付型交付金)

令和4年度 消費・安全対策交付金(食料安全保障確立対策推進交付金) 都道府県等成果及び評価報告書 (令和5年8月作成)

(令和4年度補正予算分)

都道府県等名:広島県

目的	目標	目標値及び実績			事業実施主体ごとの達成度			交付金相当額 (円)	備考
		目標値	実績	達成度	事業実施主体	目標	達成度		
Ⅱ 伝染性疾病 ・病害虫の 発生予防・ まん延防止	家畜衛生の推進	CSF及びASFのまん 延防止	CSF及びA SFのまん 延防止	達成	広島県	CSF及びA SFのまん延 防止	達成	665,000	
総 計・総合達成度				総合達成率 達成				665,000	
				総合評価 適正					

国による評価の概要

総合達成度は「達成」であり、総合評価「適正」は妥当と判断する。なお、事業は適切に実施されたと評価する。

別記様式第14号-4(第29第1項関係)(特別交付型交付金)

目標 家畜衛生の推進	
事業実施期間 令和4年度	都道府県等名 広島県
事業の実施方法	
<p>【事業内容】 国内における豚熱(CSF)及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱(ASF)の発生が継続して確認されており、県内においても感染確認地域が拡大していることから、野生動物及び飼養豚における検査体制づくりを推し進めるため次の取組を行った。</p> <p>【目標値の考え方】 国内における豚熱(CSF)及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱(ASF)の発生が継続して確認されており、当該疾病の県内養豚施設への侵入防止対策が必要である。</p> <p>【目標値】 CSF及びASFのまん延防止 ・現状 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数(令和3年度) 0件 ・事業実施後 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数(令和4年度) 0件</p>	

目標値					
項目	現状	目標値	実績	達成度	評価
家畜の伝染性疾病のまん延防止	-	CSF及びASFのまん延防止	CSF及びASFのまん延防止	達成	適正

事業内容及び実績額				
事業内容	規格・規模等	所要額実績 (円)	左の交付金相当額 (円)	交付率 (%)
(6)家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備	家畜衛生対策の推進に係る関連機器の整備等	1,499,850	665,000	44
(計)		1,499,850	665,000	

事業の成果

【実施状況】

(6) 家畜衛生の推進に係る関連機器の整備

CSF及びASF検査に必要な検査機器を配置することで、迅速な検査体制を整備することができた。  
微量高速冷却遠心機 1台

【成果】

CSF及びASFのまん延防止

- ・ 現状 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数（令和3年度） 0件
- ・ 事業実施後 県内養豚施設におけるCSF及びASFの発生件数（令和4年度） 0件

都道府県等による評価の概要

検査機器の整備により、野生動物及び飼養豚における検査を迅速に行うことができたと評価する。

専門家((一社)広島県畜産協会 大竹昭仁主管)における評価の概要 R5.8.9 広島県庁

- ・ 検査機器の整備も計画的に進んでいる。家畜伝染性疾患の診断を迅速かつ正確に実施することは、家畜防疫の基本であることから、さらに検査機器を充実させていただきたい。
- ・ 今後とも、養豚農家に対する飼養衛生管理基準の遵守指導を強化し、豚熱及びアフリカ豚熱の侵入防止に努めていただきたい。

第三者の主なコメント

広島県農業関係施策検討会議  
(第三者会議)(委員については別紙参照)

事業を適切に実施している。

国による評価の概要

管内でCSF・ASFの発生リスクが高まる中、特定家畜伝染病等の遺伝子PCR検査の体制づくりの強化に取り組み、目標は達成されており、特定家畜伝染病に係る事業は適切に実施されたと評価する。

今後も、飼養衛生管理基準に基づく継続的な衛生指導の実施により、県内全体の衛生レベルの底上げや維持に取り組まれることを期待する。